

平成26年度 元石川小学校 学校全体計画

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領

・横浜市基本構想・横浜教育ビジョン・横浜版学習指導要領
「知」「徳」「体」「公」「開」で示す「横浜の子ども」の育成をめざす

・子どもの実態
・地域の願い
・保護者の願い
・教職員の願い

元石川小学校 学校教育目標

笑顔 輝き 勇気 ある子を 「も・と・い・し・か・わ」で育てます。

- 自分らしさを発揮し、進んで表現する子どもを育てます。
- よりよい生活をするために、勇気をもって行動する子どもを育てます。
- 人と人との結びつきを大切にすることを育てます。

- 【も】 もっと知りたい。もっとうまくなりたい。いつも学ぶ姿勢を大切にします。 …「知」
 【と】 ともだち（友達）づくりはあいさつから。なかまと助け合い、仲間と協力してやりとげます。 …「徳」
 【い】 いつでも進んで運動したり、友達と協力して、健康・安全に気をつけたりします。 …「体」
 【し】 自分のよいところや友達のよいところを進んで見つけます。 …「徳」
 【か】 かかわりあいを大切にします。積極的に地域や地域のひとたちとかわります。 …「開」
 【わ】 わたしたちのまちの人やものを大切にします。 …「公」

知 徳 体 公 開

具体的取組目標

○興味と関心を広げ、自分から課題を見つける
○課題解決に向けて、ねばり強く取り組む

○ものごとの善悪を正しく判断し、礼儀や規範意識を大切にすること
○他者の気持ちを考え、互いに尊重しあって生活する

○自分や人の生命や体を大切にする
○心と体の健康を守ることに関心をもち、望ましい生活習慣を身につける

○地域との関わり合いを大切にし、地域から学ぶ
○自らができることを実践する

○日本や地域の伝統や文化を学ぶ
○人とのコミュニケーションを通して、視野を広げる

学別 身につけさせたい資・能力

	小学	中学	小学
知	生活の中から 題を見つけ、進んで関わろうとする。	自分から課題を見つけ、り強く取り組もうとする。	見した課題を を てて考え、 題解決に向けて まで取り組む。
徳	きまりやルールがわかり自分と りの いや さに気づく。	規 に基づいて正しい判断ができ、互いの さや いがわかる。	礼儀や規範意識を大切に、互いを尊重しあい、協力することができる。
体	自分や自 を大切にし、食 に関心をもち 進んで運動をする。	自分や人の命を尊重し、健康に気をつけてたくましい体をつくる。	生命を尊重し、食生活の大切さを理解し、心身共に健康でたくましい体をつくる。
公	地域や人 と進んで関わろうとする。	地域の「もの」「ひと」「こと」に進んで関わり、地域の特 を知ろうとする。	地域の一員であることを自 し、地域のために できることを実践しようとする。
開	人とのコミュニケーションを通して、地域を知ろうとする。	地域・ 会に関心をもち、 点を理解し、 地域の さを知ろうとする。	日本と の や文化を学、地域 会の 展のために しようとする。

教科・領域

横浜版学習指導要領 教科
 ・ 題解決 の重視
 題 見 構想力 考・判断力
 読解力 力 実践力
 ・指導内容の明 化
 充的・基 的・ 展的指導内容
 しっかり教え、しっかり きす
 ・考える内容 知識・ 能
 ・ きす内容 関心意 資 ・能力
 習 活用 探求

6つの重点的課題

【かな心】・規範意識・公共心・ の育成・ かな
 【国語力の向上】・意 通・考力・想 力・ 力
 【コミュニケーション能力】・他者との関わり・協 ・共生
 ・ 語教育・実践力
 【健康】・自 的な健康 理・体力向上・食教育・心の健康
 【 教育】・ 活用能力・ リテラシー・ ラル
 【知識・ 能の習 活用】・環境・健康安全・キャリア・福祉
 ・食・多文化共生

特色ある教育活動

健康・安全教育
 ・「健康」教育・「食」教育・「安全」教育
 環境教育
 ・環境 善の実践・資 の保全と 利用
 特別支援教育
 ・特別支援教育の 進
 ・ 会的スキルYPの充実
 元
 ・ 学 による り 活動
 ・他者との関わり協 共生

つの 体的取組

学校運 協 会の創設

連携の活 化

「横浜の時間」の創設 ・体験的な活動を大事にして探求的な学習活動の展開 ・地域の単元化・地域人材の活用 ・環境・キャリア・福祉・健康安全 ・多文化共生・食をテーマとした教育課題の解決	外国語活動(YICA) ・身近な素材を扱ったトピックを中心とした「聞く」「話す」力の育成 ・コミュニケーション能力の育成	幼稚園・保育園との連携 ・入学前の児童理解研修 ・初任者研修 ・生活科における継続的交流	地域・PTAとの連携 ・教育ボランティア・懇話会・学校説明会・地区懇談会・オープンスクール・スクールゾーン対策・学援隊・朝門学援隊・学校開放	中学校との連携 ・授業、部活動参観・児童生徒理解 ・指導方法、指導内容の連携
読解力向上 ・朝読書、読み聞かせ活動の充実 ・全教科を通しての章・資料の理解、利用、熟考する能力の育成	個のニーズに対応した指導 ・特別支援教育の一層の充実 ・個に応じた指導の視点から児童指導の充実			